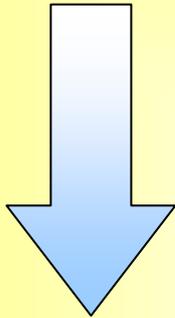


# 答申の構成について（案）

【総論】

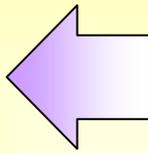
**基本理念（なぜ男女共同参画を推進していくべきなのか）**

〔 例 ・ 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会の実現  
・ 男女が個性と能力を発揮することによる、多様性に富んだ活力ある社会経済の構築 〕



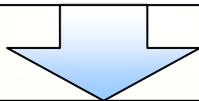
**現計画策定後の社会情勢の変化と課題**

〔 例 ・ 少子高齢化  
・ 雇用・就業をめぐる変化  
・ 家族をめぐる変化  
・ グローバル化 〕



**視点（男女共同参画社会の実現に向けて、今何が必要か）**

〔 例 ・ 男女共同参画に興味・関心の薄い層への戦略的アプローチ  
・ 多様な主体の連携・協働（第2ステージの具体化）  
・ 多様なライフコースを想定した長期的な視点に基づく取組 〕



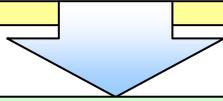
具体化

**重点事項（どういった事項に重点的に取り組んでいくか）**

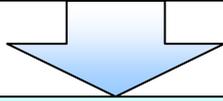
〔 例 ・ 女性の活躍の促進  
・ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）  
・ 地域における男女共同参画の推進  
・ 女性に対する暴力の根絶  
・ 困難な状況にある人々への支援  
・ 男性にとっての男女共同参画 〕

**推進体制**

〔 例 ・ 国と地方の推進体制の整備充実  
・ 地方公共団体、企業、大学、NPO、男女共同参画センター等との連携強化  
・ 国際的協調・対外発信機能の強化  
・ 風土の改革・気運の醸成、あらゆる年代層への意識啓発（表彰、広報等）  
・ 監視・影響調査機能の強化  
・ 苦情処理等のしくみの再検討 〕



今後重点的に取り組むべき分野の達成状況・評価、今後の施策の基本的方向と具体的な取組【各論】



新たな時代にふさわしい男女共同参画社会の実現